

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市城東区東中浜二丁目十の十三 緑端グリーンハイツ1F アド企画  
一九八四年八月二十日第三種郵便物認可 毎日発行 頒価百円

# KSKP

## 障害者情報クラブニュース20



### 介護保険に埋没

しないために

代表 坂上正司

この原稿を書いていっているちょうど一年前といえ、俗に言う「一月の乱」の真つ最中でした。「厚生労働省が支援費支給制度のホームヘルパー利用に月一二〇時間の上限を設ける」というニュースが日本中を駆けめぐり、その抗議のために延べ数千人の障害者が、約二週間にわたって厚生労働省を取り囲みました。厚生労働省は、その後上限を撤

廃し、「障害者(児)の地域生活支援の在り方に関する検討会」(以下、「検討会」と略す)を設置して、利用者である障害者との話し合いの場をつくりました。しかし、昨年一二月には、「ホームヘルパー単価見直し(削減)案」の存在が突然明らかになり、現状でさえやりくりに苦慮している障害者を恐怖に陥れました。こちらは厚生労働省があっさりと撤回したのですが、「検討会」で培ってきたものはいったい何だったのか」という虚しさが残る事件でした。

そんな中、今年に入り、厚生労働省で介護保険の被保険者を二〇歳からにすることなどを検討する「介護制度改革本部」が開催されることが決まりました。同本部は、障害者を介護保険に



入れるかどうかとも検討されます。

二〇〇五年には介護保険法の改正が予定されており、二〇〇四年八月の来年度予算策定に間に合わせるために、同本部は半年で結論を出すことを求められるでしょう。それに合わせて「検討会」の予定がこの七月で打ち切りにならないことを願うだけです。事は急を要するようです。

さて、国も自治体も歳入不足で財政が逼迫してきたことを理由に、歳出削減に取り組んでいるようですが、実のところは無駄遣いのツケで首が回らなくなったので、弱いところからつついていくだけです。真剣に歳出削減をするつもりはありません。

財源不足を理由とする「支援費制度の介護保険統合論」の台頭も、その政治家の無能を露呈しているようなものです。手練手管で高速道路がつくることのできる財源はいったいどこにあるのか訊いてみたいものです。

先発の社会保険がすべて破綻しているのに、今更保険に頼る理由はあるのでしょうか。縦しんば保険制度を是としたところで、施設入所者のしかも医療モデルに基づいた現行の介護保険制度で障害者の生活を支えるサービスが提供できるのかを「検討会」を中心にもう一度しっかりと考えて欲しいものです。

宝塚市展【書】入選



障害者情報クラブ スタッフ

岩本通教(浩一)

この度、私の書道の作品が宝塚市展において入選することにになりました。早速、障害者

情報クラブの二人のメンバーと私と三人で見学に行つて参りました。自分の作品が本当に飾つてあるのか半信半疑でしたが、いざ、会場へ行つてみますとやはり私の作品がありました。嬉しい反面、恥ずかしい思いがしました。

私の書道の實力は漢字で一級です。その私が、入選するのはやはりラッキーだったのではないでしょうか。

いつも、便りに宛名書きをしている私ですから、皆さん私の書道の實力がどれほどであるのかは、お察しされると思っています。

私は一ヶ月に二回の割合で大阪の天満まで、書道教室へ四年前から通っています。そこで書いた作品が、入選しました。私の書いたものは福音書からのもの



ので、私以外、誰も聖書に関する作品は見受けられませんでした。

宝塚には、たくさんの方の書道家はいますが、聖句書道家は本の一握りではないのでしょうか。私の将来の書道家としての歩みは昔の古典にこだわらずに、あくまでも聖書を主軸に、聖書の御言葉をおして、作品作りをしていきたいと模索している次第です。

どうぞ、皆さん応援してください。さるよう宜しくお願い致します。岩本通教(浩一)



チベット探検記 かわい

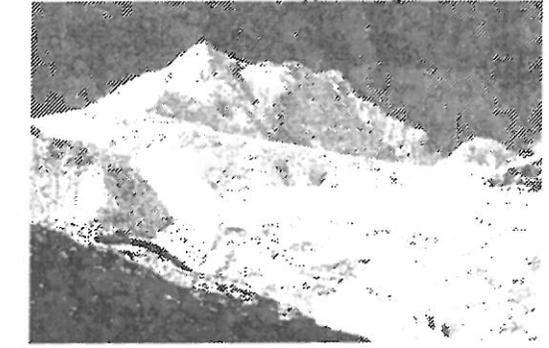
障害者情報クラブ  
アテンドラント 小宮勇介

障害者情報クラブ | 会報係御中  
アテンドラントの小宮勇介です。今、チベットの帰りで上海におります。以下の「チベット探検記」の文章を書きますので会報の原稿にして下さい。

①まず私がなぜチベットに行ったかという、誰も登っていない山がインドとビルマ(ミャンマー)とチベットの国境近くにあり、めつたに入ることができなから東に行きました。今年、成都から西にジープで一週間掛け山のもともで行きました。去年は三人で偵察に行きました。今年には九人で行ったのですが、大雪の為断念しました。大学の時に入っていた山岳部の人たちは行きました。移動中は食事にはジープで、移動中はほ

とんど四川料理を食べました。ふもとの村では、チベットの麦で作った「はったい粉」に塩の入ったバター茶をかけて団子にして食べました。

山では、味噌汁やご飯等日本食が多め、音楽も日本の歌を流して、歌を流したのて、テントの内に私に日本に本に、日本よりも



©2003-2004 ACKU 神戸大学山岳会 All Right Reserved.

日本的な生活をしていました。しかし、標高が五千mを越えていたため、順応するまでは、朝起きると頭が痛くつらかったです。帰るころにはなれていたので、帰りは荷物も軽くするためチベット登山学校の若者に荷揚げしてもらった食料でつかわな

ものは、捨ててしまいました。もったいなかったです。何日も雪が降り続いたあとは腰まで埋まって歩くのが大変でした。その間動けない時はトランプをやっていて色々新しいゲームを知ることができました。

中国共産党軍は一九五十年以来百万人以上のチベット人を虐殺したとインド亡命中のダライラマの自伝に書いてありました。帰りに寄ったチベット寺院は、文化大革命のときに全焼したが、再建されたそうです。その「ガ

デ(寺)には、写真もあり、もしダライラマが来たら泊まる部屋も案内してもらいました。現在では学校教育で、文化大革命に





いので、若い人はあまり知らない。知らぬが、うですが、よくないと思いましたが。それは、日本についてもあてはまると思いますが。

した。日本軍が東アジアを侵略したことが少ししか教科書に載っていないのはよくないです。中国では社会主義国から資本主義国に変わって金持ちとそうで

ない人の格差が大きくなっている。うですが、何か忘れていて、何ような気がしました。

小宮勇介

11/14 2003



チベット探検記 その二

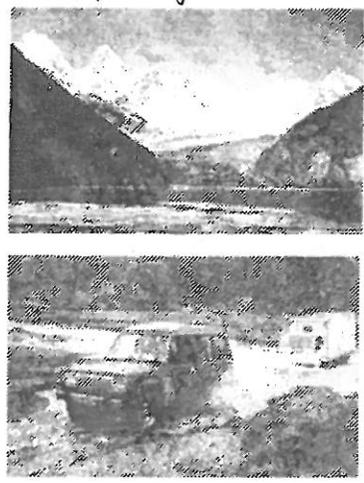
小宮勇介

私はこの秋、チベットにあるルオニイ峰に登りに行った。ルオニイ峰は六千八百五mの未踏峰で中国チベット自治区のビルマ、インドとの国境付近にある。一緒にいったメンバーは私が大学のときに入っていた山岳部の学生や卒業生などで、合計九人。九月のある日、飛行機で関空から成都に行く。途中上海で乗り換える。

成都からはずーっと毎食のようには辛くて、白酒と良くあう。白酒は六十度くらいの高梁と米の酒で少し甘く感じる。丸いテールの顔をみながら飲む酒はうまい。十月のある日、成都から西へ、ジープとミニバスとトラックで出発。ところどころ道の悪いところでは、車が揺られて何回も頭を打つ。

ある日の朝、車を修理している間、ホテルで待っているとき、買ったばかりのチベット服を私

©2003-2004 ACKU 神戸大学山岳会 ALL Right Reserved.



が着ていたもので、インドから来たチベット人旅行者に英語で話し掛けられる。来年はインドに行く約束する。

ルオニイ峰のふもとに引くで、トラックが、ジープで引張らないと動かない。そして、後ろからトラックを人力で押さないに進まない上り坂があり、押す準備をしていると、去年来た時に泊めてもらった家の主人にばったり出会う。標高が高いうえにトラックは重たいので息が切れる。何とか動き、村に到着。ヤクという牛に、村からテント場まで荷上げしてもらう。この牛の乳で作ったバターと塩を入れた茶をバター茶といいい、これをチベット人はよく



ラマ十四日  
 世の写真  
 があって  
 「世界の  
 良心の必  
 要性」と  
 いうよう  
 な意味の  
 英国語が  
 書いてあ  
 る。

成都に  
 戻る。成  
 都では豚  
 の脳みそ  
 や蛙を入  
 れる火鍋  
 という辛  
 いしゃぶ  
 しゃぶや  
 カボチャ  
 やトマト  
 の入った  
 水餃子、  
 麻婆豆腐  
 など食べた。  
 上海に着  
 き、雑技  
 団を見た。  
 体が柔ら  
 かい人や  
 バランス  
 感覚のあ  
 る人など  
 が出てき  
 た。体や  
 技を丹念  
 に鍛えて  
 いて見習  
 いたいと  
 感じた。  
 十一月の  
 ある日、  
 関空に帰  
 ってくる。  
 他のメン  
 バーは荷  
 物検査に  
 遅れたの  
 で次の日  
 に帰って  
 くる。



## バリアフリー都市への希望

参考文献『旅行人ノート チベ  
 ット』  
 写真は神戸大学山岳会さんの  
 HPからお借りしました。

飯塚博子

最近「バリアフリー」と  
 か「ユニバーサル」  
 と言う言葉をやたらよく  
 耳にする。公共施設・劇  
 場・乗り物・各種店舗・劇  
 場・ホテル etc。どこ  
 もかしこも「バリアフリ  
 ー」をセールスポイントに  
 したり、まだ整っていない  
 所では「これからバリアフ  
 リーを目指して！」をス  
 ローガンのようにかかけ  
 たりしている。  
 ではいったい「バリアフリー」  
 とは何なのだろうか？単に建  
 物や道路にスロープやエレベ  
 ーターを付けたり、広いめのト  
 イレを作ったり、とりあえず車  
 椅子でも使える施設にする！  
 果たして、それだけで「バリア  
 フリー」の目標が達成されてい

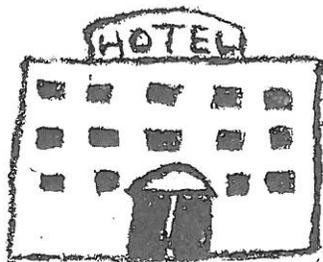
るのだろうか？

私はよくあちらこちらを旅  
 行したり、趣味が観劇のため  
 色々な劇場へ足(車椅子)を運  
 ぶことがよくある。この頃は  
 以前より大分整備されて来た  
 が、それでもやはり 階段しか  
 ない、あるいはエスカレーター  
 のみの駅や建物によく出くわ  
 す。外出する際に 身障者用  
 トイレを探し回って、悪戦苦闘  
 する。こんなことは日常茶飯  
 事である。



一番苦労  
 するのは旅  
 行の折の宿  
 ますホテ  
 ルの部屋を  
 予約する時  
 「ハンディキャップルーム」  
 があるか、どうかを確認する。  
 あればその部屋をとりあえず  
 抑える。ただ「ハンディキャ  
 ップルーム」を抑えたからと言  
 って、安心し油断してはいけな  
 い！  
 「車椅子が入れば良い」と言う  
 安易な発想で、トイレ&バスル

ームが広いのは結構だが、床が総大理石で、物凄く滑りやすくなり浴中、介助者共々思いつきり足をすべらせて転倒した経験がある。「ハンディキャップルーム」の意味を正確に理解していないのだから。それもまだ「ハンディキャップルーム」を形だけでも設置している所は良い。ホテルの中には「そう言うお部屋はウチにはございません！」と、平然と言う所がある。「車椅子で宿泊したいのですが、ではどうすれば？」とこちらが訊くと、また平然と「スイートルームでしたら、お部屋のスペースが広めになつておりますので、車椅子でもお泊り頂けるかと……」。料金を訊くと、通常のツインル



ームの何倍もの値段!!! そのうえ「お客様のご予算やお気持ちなども ございますでしょうから宿泊お申し込みはもう少しお考えになってから結構でございます」とのこと。前置詞に「申し訳ございませんが」や「これから設置する予定ですが、今はまだ……」などと言う言葉は全くない。つまり「別に無理して車椅子の障害者に泊まってもらわなくても、ウチほどの格式があればいくらでも泊まる客はいる!」と言うのが ホテル側の本音なのだろう。私は幸い自宅から 比較的近かったので、自分で何度も交渉に行ったり「要望書」を書いたりして、結果的にはそのホテルの「スイートルーム」に普通の「ツインルーム」の料金で泊まれたのだが、最初からあのようにならぬ高飛車に出られたら、世間知らずのおとなしい障害者は「あんな格式の高いホテルに車椅子で泊まろうとした自分が誤りだったのだ!」と、呆気

なく諦めてしまふのではないだろうか? そしてそれがホテルの思惑でもある。しかし格式が高かろうが、何だろが 所詮はサービス業! 「お客様あつての商売」だと言うことを ホテル側もしっかり認識し、客側の障害者もヘンに遠慮するばかりでなく「他の普通の客と同様、サービスを受ける権利がある!」と言う意識を持つべきである。その意識を各自がそれぞれ持つて、適確に行動すれば、少しでもサービスを提供する側も 色々な客がいることに気が付くはずである。と同時にマイノリティ(少数派)である私たち障害者は どんどんあらゆる方面で、自分達の存在をアピールし、理不尽な対応を受けた場合は 臆することなく、相手に正当な主張をして 自分達の存在を認めさせねばな



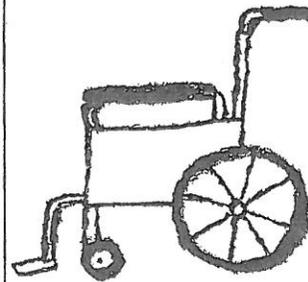
らない。何も旅行や観劇・外食など、特別な機会だけでなく、ごく日常の買い物や医療機関での診察、ひいては同じ集合住宅に住む人たちとの日頃からの交流と言った、ささいなことから始めなければ、このマジヨリテイー(多数派)社会ではなかなか差別や偏見は解消できない。

「バリアフリー」だの「ユニバーサル・・」と、建物や体裁だけを繕ってみても「所詮他人事」と思われている以上、本当の「バリアフリー」な社会はできない。

生きていく限り、年を取らない人間はいない! 死ぬまで絶対事故や病気に合わない! 確証できる人間もいない! いった誰がどのような状態になるか? そうなった時、周囲がどれほど受け入れてくれるか? 誰もが少し考えれば、答えは出るのではないか。

結局、物理的なものより人間の心に張り巡らされた「バリア」が最も 私たちを生きにくく

くしているように思う。マイノリティでもマジヨリテイーも双方の存在意義を認め合うことが重要課題なのではないだろうか。



**読者からのおたより**

障害者情報クラブニュース (十九) 読後にて御願いの件

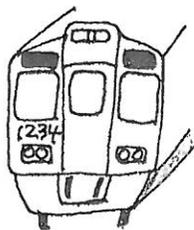
A・M様からの、お手紙

平素は何かとお世話に相成り厚く御礼申し上げます。私儀四級身体障害者、右肘関節結核、右肘関節機能全廃、その他、膝関節、腰椎、頰軟骨症、不整脈、七十九才

ニュース十九、の十五P 鉄道駅舎の状況の読後に感じました

事、下記

バリアフリーはほぼ完成とありましたが、清荒神駅は一部スロップ化致しましたが依然として階段の利用、下りホームの改札の利用によって解消すると思われず。正月に限定せず常時利用出来ればと存じます。まして荒神駅利用者は市外の方が多く、現状ではイメージが悪いと思います。又バリアフリーはスロープ、エレベーター、エスカレーターだけではないと存じます。プラットホームと電車との間隔、売布神社駅ではひどいところで四十〜五十cm、障害者に限らず老人とっては乗車する際恐怖を感じさせます。現在の技術を以って致しましては電車(定位置)停車後プラットホームから



ステツプ板等揚げられるのではないかと考えられます。売布神社駅に限らず、宝塚南口駅、

逆瀬川駅とも、にかよった状態です。何時か、プラットホームと電車の間に転落事故が起こるのではないかと危惧、御一考を御願ひ申し上げます。  
以上、読後の所感です。  
残暑きびしい折柄皆様、御自愛程お祈り致します。

**障害者情報クラブ、  
I L センターにきてから**

障害者情報クラブ  
I L センター スタッフ  
堀口 礼子

私は、生まれつきの脳性小児麻痺です。三年前にI L センターにこさせてもらってから、随分成長したと、自分で感じてます。それは、人と話もできるよかったですし、知らない事が多くもりました。すごく勉強させてもらいました。ここにくるまで、は、子育てにおわれてたので、毎日が大変でした。障害があるけど、動けるので十九歳で結婚

しました。二十歳の時に一人目の子供を産んで、それから後五人も、産んだので、六人になりました。  
一人増えるたびにできない事も、少しずつできるようになってきました。それは、良かったのですが、気がついたら今の今まで、世間知らずで、二十歳ぐらいで、精神年齢は、止まっていたような感じがします。それは、オーバーかなんて、そう思うぐらい何も知らない事が、多かったの自分でもビックリしました。聞くは、一時の恥、聞かぬは一生の恥ってことわざがあるので、恥をかきながら色々聞いて、色々な事教えてもらいました。その内容は、いっぱい、例えば、いまだに飛行機に乗った事がない私は、飛行場が三、四箇所しかないと思つたので、いくつも



ある事がわかり大笑いになり、新幹線には乗った事はないのですが、一人で乗った事のない私は、またまた、ドジして、広島に行くのに、三分遅れてしまい、せっかく指定席をとってもらっていたのに乗れず、どうしようとなせりました。広島に行けなくなつたと思つたから、改札まであわてて戻り、聞きました。すると、指定席には乗れないけど、自由席には乗れる事が分かつて、ほっとしました。そうして、何とか無事に広島に着いて、やれやれと思つたのですが、また難問題が！自分の行き先が分からないことに、気がつき、一瞬、頭真っ白、ドジにもほどがある、行き先の住所の手紙を家に忘れてきたのです。  
行き先は、分からないけど、主催者の住所が分かったので、そこに行ったら分かるかと思つて行きました。だけど、誰もいなかつたので、やっぱり困りました。そして考えて、I L センターに電話をかけて聞きました。センター長は、びっくり！！

後で聞いたのですが、資料がなかったのだからなくて、大変だったと笑われてしまいました。調べて連絡してもらい、やっと目的地にいけました。そうゆうドジばかりしてて、帰りは、指定席に乗らなくてもいい事が分かって、広島見学ができました。それを、自分なりにいいように解釈して、また一つ賢くなったと思つたら、後で、よくもまゝと、あきれられました。けど、年々少しずつ、知らない事も分かり、楽しくなり、また点字も覚え、パソコンも少し出きるようになって、子育てだけで終わつてたら、こんなに楽しく過ごせなかつたと思います。それから、友達もできたので、本当にILセンターにこれで良かったです。

バザーの御協力ありがとうございました  
ごさいました

二〇〇三年十月十二日のアピ  
アチャリティーバザーと十二月



七日の障害者の日のバザーが無事終えることが出来ま

した。これもバザー用品を御寄付して頂いたおかげと感謝しております。本当にありがとうございます。売上金は、活動費に使わせて頂き、念願の障害者情報クラブののぼりそして夏の行事の時に着るはっぴを作らせてもらおうと思つております。いいのが出来そうです。

さて十月十二日の宝塚逆瀬川のアピアでのバザーですが、この日は、曇りでいつ雨が降つてもおかしくない気候でした。風が強くて紙に書いてたのぼりが一時間もたなくボロボロになり「やっぱりちゃんとしたのぼりが欲しいね」とスタッフの声。とにかくアピアバザーはお客さんのパワーがすごいので売り手の方が負けてしまいそうです。ここでの参加は初めてでしたので、最初はパワー負け、でもこちらががんばりました。狭い通路に

大勢出店で、活気があつて疲れただけど面白かつたとは、参加したスタッフの感想でした。十二月七日の方は売布のぷらざこむで、こちらは室内でしたので、雨の心配もなく風の心配もなく障害者情報



クラブILセン

ターの啓発のパネル展示とともにバザー販売をいたしました。そこでの売り上げ金とアピアバザー売上金を合わせたのぼりを買う予定です。ありがとうございました。今年も目的をもってバザーをいたしますので、なにとぞよろしくお願いたします。

障害者情報クラブ  
I L センター スタッフ一同

2003年8月9日  
ボウリング大会感想文

2003/8/9、数日前より台風十号が日本列島を伺いながら北上を続けていました。「第八回・障害者情報クラブ主催・ボウリング大会」がその最中に開催されました。なにも、よりによって台風の日を選んだ訳ではなく、自然現象には勝てません。前日に四国上陸、その後西宮に再上陸し午前中に兵庫県を通過して行きました。幸いにもこの周辺では大きな被害もなく、夜中に風雨が強く警報も発令されていましたが早朝解除されました。少々余波もありましたがゲームが開始されるお昼にはほとんど影響なく、参加者一同三

十人が会場の「川西ROUND 1」に集合出来てよかったです。今年には多くの参加者があり、ゲームも盛り上ってました。自分自身もストライク・スペアが何回か取れ、最終結果で1位を頂きました。何度か参加して初めての事で嬉しかったです。もっと多くの障害者の人に、仲間と参加するスポーツとしての「ボウリング」を楽しんでもらいたいものです。

金岡 幸二

今回はたくさん参加者で楽しかったです。周りの人と競えたのが良かったのですが、良いコースに投げているのに、思いどおりにピンが倒れなかつたのが残念でした。

堀口 礼子

大変楽しかったです。来年も



参加したいと思えます。また、多くの障害者の方々も参加していただきたいです。

佐竹 正行

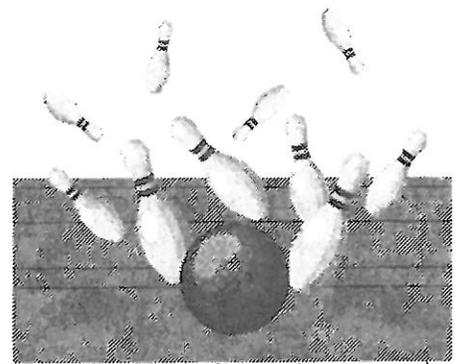
大変楽しかった。また来年もお願いします。

新井 加代子

ずっと、台を使って投げてみたが、来年は、台無しでやってみたいと思ってます。私の青春時代は主人との初デートもボウリング、あのころの若い頃を思い出して投げてみたいと思います。が、なにせ、気持ち若いは若いけど、体はがたがきています。今日この頃。ボールもてるかしら、それとも、優勝かしら？みなさん、賭けません？

中山 君江

古川です。本日は大変お世話になりました。商品までいただきました。思わぬ麦茶わりにしておいしくいただいています。(息子は一杯で



真っ赤  
になっ  
てしま  
う可愛  
い奴で  
す) 6月  
より兵  
庫県リ  
ハビリ  
テーシ  
ョンセ

ンターの自立生活訓練センターに入って一年後には出所の予定  
です。またお世話になることと  
思いますのでどうぞよろしくお  
願いします( ^ ) ^ )  
今回の夏休みの目標は「外出を  
する」だそうです。ということ  
で明日はMOVIX六甲で映画を  
見てきます。母も一緒に楽しん  
でおります。

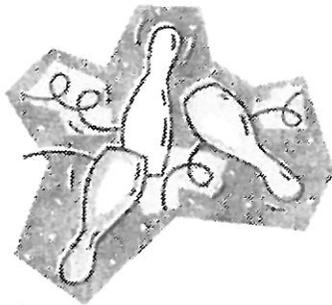
古川和美

はじめの参加でした。とても  
楽しく子供と一緒に参加させ  
てもらって、ありがとうござい

ます。その上賞品までいただき  
ました。子供もとても喜んで、  
来年もぜひ参加したいといっ  
ておりますので、親子ともども  
よろしくお願いいたします。

池田修子

情報クラブのイベントで行け  
る『一年一回のボウリング大会』  
を、楽しみにしていました！春  
の『宝塚ファミリーランド』に  
引き続き、今度はボウリング大  
会が台風で中止にならなくて良  
かったです。今年も、参加者も  
多く、ILセンターのスタッフ  
もほとんど参加で、盛り上がり  
ました。  
今回のゲームで私は上手いプレ



イができ  
ず、プー  
ビー賞で  
悔しかつ  
た。みな  
さんのプ  
レイをな  
かなか見  
ることが

できなくて、少し残念です。  
ボールを転がすマシンの下に  
敷いているシートの上を行った  
りきたりしているうちに、シー  
トがポロポロになってくるので、  
そうならないようにできないか  
なあ、と思います。

古谷かおり

ぼえむ

部屋の窓から...

ILセンター スタッフ

古谷かおり

私の部屋の大きな窓から  
一本の木が見える  
春・夏・秋・冬  
四季を感じられる

毎日 毎日  
一本の木は姿を変えていく

生きてるなあ:

この木に例えると 私は 今

どの季節にいるのかな  
もう秋かな  
いつかは冬が来る…なんて

寂しいなあ…

たまには そんなことを  
「ぼーっ」としながら  
感じていられるような  
心、を持っていたい

### 企画からの報告とお願い

一月十七日に二〇〇三年度の  
新年会をぷらざ こむにて行い  
ました。三十三人の参加者で楽  
しい雰囲気の中、催しました。  
来年度も予定しておりますので、  
たくさんの方の参加者をお待ちして  
おります。  
ILのメンバーのおかげで良  
い物にできたと思います。あり  
がとうございました。  
また 三月十三日には、「大阪  
の海遊館仁行こう」  
と言う企画を予定しております。  
ジンベイザメとかアシカなどを

見ませんか？くわしくは後ほど  
はがきにてお知らせします。



### 新年会の感想

出羽

★少しまとははずれるが 自己紹  
介の時にどれだけしゃべれるかを  
ためしてみた。  
失語症のため いざ話すとなると  
言葉が出ずにつまってしまうけれ  
ど何とか話す事が出来た。  
今度の自己紹介の時にはもう少し  
うまく出来たらいいと思いました。

飯塚博子

★十七日の新年会 おつかれさま  
でした。お料理もとてもおいしく  
企画されたクイズも中々の難問で  
答えを出すのが難しくもあり 楽  
しくもありました。出来れば 参加  
者同士、もう少し交流したかったと  
思います。

企画された方 司会された方 準  
備してくれた方 スタッフの皆様  
楽しい時間をありがとうございました。

中山 猛

★特に ゲームがよかった。普通は  
罰ゲームがあるのに無かったのが  
よかった。心からゲームを楽しめた  
から。  
その場を離れられなくなるほどゲ  
ームに集中していました。

古谷 かおり

★全体的な流れも メリハリがあ  
って 良かった様に思う。  
食事メニューが色々あつて  
中々おいしかった。  
一等賞でお目当ての品物がゲット  
でき、うれしかった。  
会場も広くて 雰囲気も良く 車  
椅子の人が何人入ってもゆったり  
動けて良かった。

宮下

★楽しかったです。ゲームはむずか  
しかったです。  
料理はバイキングと聞いていたの  
で、取りに行かなければいけないの

かなと予想したが、各グループごとにごちそうがあったので、弱視の私でも一人でとれたのがうれしかった。味もおいしかったです。

新井 加代子

★ゲームや食事を皆と一緒にできて楽しかったです。

班長になったのでドキドキになりましたが、頑張りました。

これからよろしくお願いします。

佐竹 政宏

★楽しい新年会でした。これからも続けてほしいです。

景品には傘をもらいました。

宝船チームの中山君江です

★新年会は、三十三人の参加でにぎやかでいつも顔を見てる人やらお久しぶりの人やらで、時間がたつのがやけに早く感じました。受付終えて席に着くと自己紹介が終わって、食事タイム。テーブルごとに人数分の食べ物が置いてあり、小さなバイキングで、食べやすかったです。カラアゲ、サーモンのチーズ巻他がありました。ゲームではビリチーム

ですが食べた量と速さが一番でした。横からよそより少なかったのではないかと声が出たぐらい、いろんなチームから分けてもらいました。そのせいか、お腹がいっぱいで頭に知恵が回らないのかゲームは見事にビリでした。

わがチームから一言、黒田さんがおられたので、一人がゲーム内容を書くのに追われてました。黒田さんがゆっくり考える時間がない間に次のクイズにいつてせわしなかったので黒田さん用に出題文を用意してあげて欲しいと思います。

土井 克哉

★私にとっては企画担当になって5年目の新年会でした。

前年の反省から「今年は良くしよう」と思って考えますが、会場選びから二転三転してしまいました。

当日の朝になると、阪神間には珍しく雪がチラホラ降っていたのですが、受付をしていたらほとんどの人が参加と知り、ほっとしました。

今後は、今までの経験を生かして皆さんも私も、もっともっと楽しめる企画を作っていきたいです。

障害者情報クラブニュース

編集者 障害者情報クラブ編集部 金岡幸二・古谷かおり

編集責任者 障害者情報クラブ事務局長 坂上正司

所在地 〒665-0816

兵庫県宝塚市平井2丁目1番10号ハイツ・エフ・オー  
205号

障害者情報クラブ事務局

障害者情報クラブILセンター

TEL & FAX 0797-82-2233

E M A I L [sjc@anet.ne.jp](mailto:sjc@anet.ne.jp)

郵便口座 14360-43110611 障害者情報クラブ

銀行口座 三井住友銀行 逆瀬川支店 普通 3566211

障害者情報クラブ